

# ハイコンピストンキット 取扱説明書

製品番号 01-02-0016

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

適応車種	GROM	(JC61-1000001 ~ 1299999) (JC61-1300001 ~ 1399999) (JC75-1000001 ~ )
	MSX125 タイモデル	(MLHJC61)
	MSX125SF タイモデル	
	モンキー 125	(JB02-1000001 ~ )
	モンキー 125 タイモデル	(MLHJB02)
	スーパーカブ C125	(JA48-1000001 ~ )
	CT125	(JA55-1000001 ~ )

## 使用燃料についてのご注意

当製品はノーマルに比べ、高圧縮比となるよう設定しております。燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。レギュラーガソリンを使用した場合、異常燃焼を起こし、本来の性能を発揮しない上にピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。製品取り付け前にフューエルタンクに残っていたガソリンにもご注意ください。レギュラーガソリンが残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

## FI コントローラーについてのご注意

当製品を取り付け、ノーマル ECU のままで使用すると、エンジンが重大な故障を起こす可能性があります。車種やスロットルボディに合った弊社製 FI コントローラー “FI コン 2” または “FI コン TYPE-e” を必ず同時装着して下さい。

FI コン 2 の車種・スロットルボディ別品番

GROM (JC61-1000001 ~ 1299999) : ノーマルスロットルボディ用	05-04-0016
GROM (JC61-1000001 ~ 1299999) : 弊社製ビッグスロットルボディ用	05-04-0025
GROM (JC61-1300001 ~ 1399999/JC75-1000001 ~ )/MSX125SF タイモデル : ノーマルスロットルボディ用	05-04-0034
GROM (JC61-1300001 ~ 1399999/JC75-1000001 ~ )/MSX125SF タイモデル : 弊社製ビッグスロットルボディ用	05-04-0035
MSX125 タイモデル (MLHJC61) : ノーマルスロットルボディ用	05-04-0020
MSX125 タイモデル (MLHJC61) : 弊社製ビッグスロットルボディ用	05-04-0026

FI コン TYPE-e の車種別品番

GROM (JC61-1000001 ~ 1399999)/MSX125 タイモデル (MLHJC61) /MSX125SF タイモデル	05-04-0115
GROM (JC75-1000001 ~ )	05-04-0116
モンキー 125 (JB02-1000001 ~ )/ タイモデル (MLHJB02)	05-04-0114
スーパーカブ C125 (JF48-1000001 ~ )	05-04-0119
CT125 (JF55-1000001 ~ ) 用	05-04-0120

※ FI コン TYPE-e または、FI コン TYPE-X と共に弊社製ビッグスロットルボディキットを併用される場合、スーパーカブ C125 と CT125 を除く車種は弊社製フューエルインジェクタを同時装着して下さい。

大容量フューエルインジェクタ (G-1)	00-00-0487
----------------------	------------

## カムシャフトについてのご注意

当製品は弊社製スポーツカムシャフトとの併用が必要です。ノーマルカムシャフトはご使用になれません。

弊社製スポーツカムシャフト N-15 デコンプレス	01-08-0179
弊社製スポーツカムシャフト N-20	01-08-0171

## スパークプラグについてのご注意

スパークプラグは必ず、CPR7EA-9 (NGK) 相当以上の冷え型に交換して下さい。その後スパークプラグ電極部の焼け具合により番数を決定して下さい。

## ☆ ご使用前に必ずお読み下さい ☆

- ◎ 当製品はクローズド競技用として開発した製品です。(道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。)
- ◎ 取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により、事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎ 海外モデルにおいて予期せず仕様変更された場合、この製品が取り付け出来ない恐れがあります。予めご了承下さい。
- ◎ 当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
- ◎ 当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎ 他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎ 当製品は、上記適応車種の車両専用です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ◎ 当製品の取り付けには上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って下さい。
- ◎ 取り付けの際には工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。
- ◎ この取扱説明書は、基本的な技術や知識を持った方を対象に作成しております。取り付けに自信の無い方や、取り付けに必要な工具等をお持ちでない場合は取り付け作業は行わずに、指定工場、又は認証工場などの車両整備が可能な業者へ取り付けをご依頼下さい。
- ◎ 必ず慣らし運転を行って下さい。
- ◎ 当製品を取り付けると出力アップに伴い発熱量も増加します。長時間の高負荷走行には向きません。
- ◎ ボルト、ナット、ノックピン、バックギン類の一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず必ず新品の物をご使用下さい。
- ◎ シリンダーヘッド、シリンダー等はノーマルを使用します。使用前に必ず純正サービスマニュアルを参照して点検を行って下さい。コンディションが悪いものは再使用せず、新品部品と交換して下さい。
- ◎ 運転者の体重や走行状況により 2 次減速比の変更が必要になる場合があります。
- ◎ シリンダーヘッドは、定期的に必ず規定トルクで増し締めを行って下さい。
- ◎ ガスケット、バックギン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。
- ◎ ガイドローラー部のシーリングワッシャは同梱させておりません。別途お買い求め頂く必要があります。特に損傷が激しい物は再使用せず新品のシーリングワッシャをご使用下さい。

ホンダ純正品番 : 90475-KWB-600

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16  
TEL: 0721-25-1357 FAX: 0721-24-5059 URL: <http://www.takegawa.co.jp>

～特徴～

- ノーマルヘッドを使用し、ノーマルと同じボア径、同じ排気量でありながら高出力化を可能とするハイコンピピストンです。
- ピストンの高圧縮比化、高効率燃焼化やフリクションの低減にこだわり、高出力化を可能としました。圧縮比 12.5:1
- アルミ鍛造材を使用し、高圧縮比化に耐えうるよう高剛性に上げています。
- 弊社製スポーツカムシャフトと弊社製FIコントローラーの併用により、持てるポテンシャルを引き出します。

**注意** この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）

**警告** この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）
- ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、酸化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。
- 製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。  
 ◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させていただきます。  
 但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。  
 なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。  
 ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

製品内容



番号	部品名	個数	リペア品番
1	ピストン 52.4mm	1	_____
2	ピストンリング 52.4mm	1	01-15-0003
3	ピストンピン 13x33	1	00-01-0207
4	ピストンピンサークリップ 13x1	2	00-01-0003 (6ヶ入り)
5	シリンダーヘッドガスケット	1	00-01-0208
6	シリンダーガスケット	1	00-01-0370

記号	部品名	リペア品番
A	ガスケットセット	01-13-0126

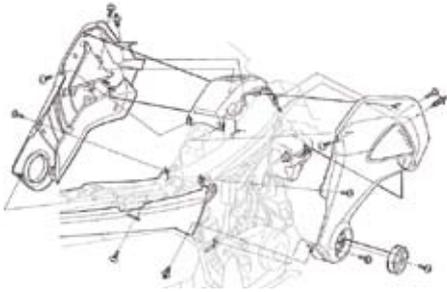
※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。  
 品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。  
 尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいますようお願い致します。

- 取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。
- ・水平な場所でメンテナンススタンドにて車両をしっかりと安定させる。

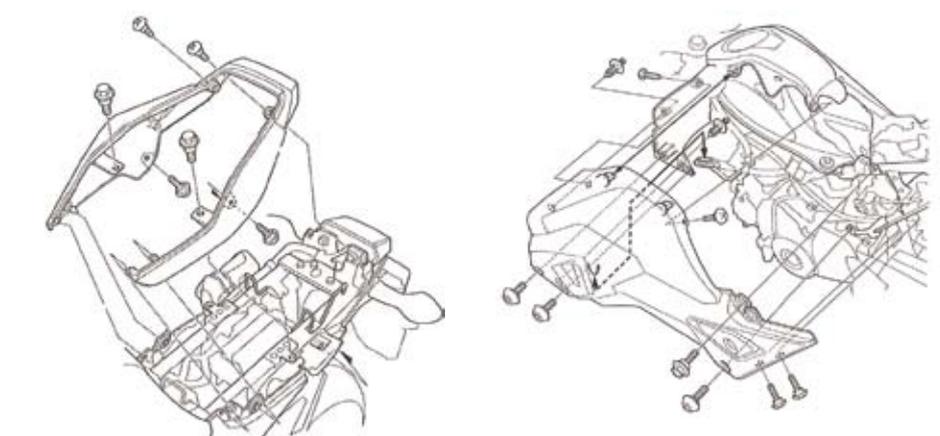
GROM, MSX125, MSX125SF の場合

●外装部品の取り外し

- ・シートを取外し、純正サービスマニュアルを参考にして左右のシュラウドを取り外す。
- <GROM: JC61-1000001 ~ 1299999 の車両の場合>



<GROM: JC61-1300001 ~ 1399999/JC75-1000001 ~ の車両の場合>

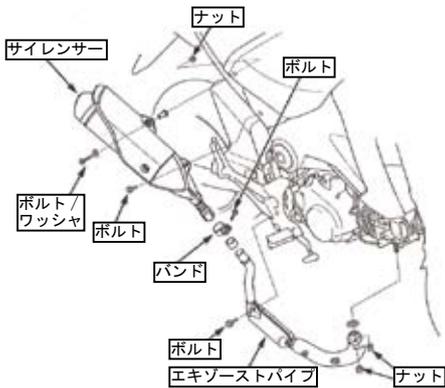


●(ノーマル)エキゾーストマフラーの取り外し

※エキゾーストマフラーが変更されている場合は、そのエキゾーストマフラーの取扱説明書に従う事。

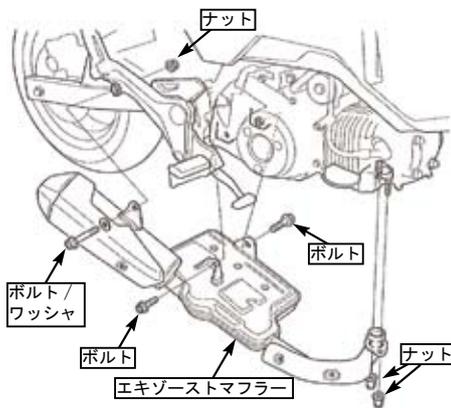
<GROM:JC61-1000001 ~ 1299999 の車両の場合>

- ・バンドのボルトを緩め、サイレンサーのボルト及びボルト/ナットを取り外してサイレンサーをエキゾーストパイプから抜き取る。
- ・シリンダーヘッド部のナット2個とボルト1個を取り外し、エキゾーストパイプを取り外す。



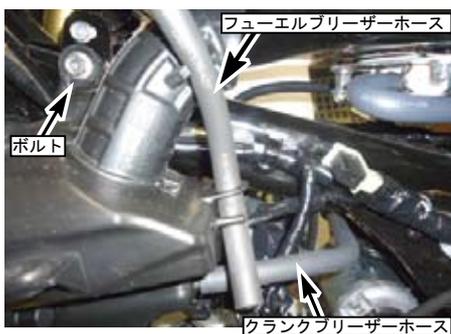
<GROM:JC61-1300001 ~ 1399999/  
JC75-1000001 ~ の車両の場合>

- ・各ボルト、ワッシャ、ナットを取り外し、エキゾーストマフラーを取り外す。

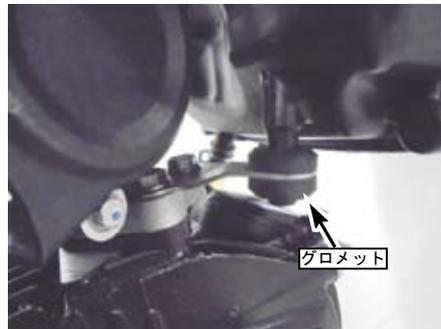
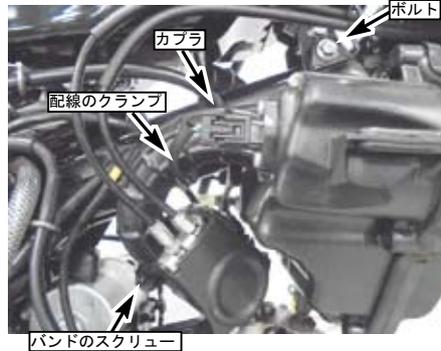


●エアクリナーケース、インレットパイプ/スロットルボディの取り外し

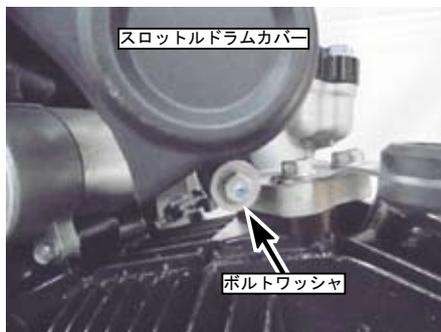
- ・エアクリナーケースからクランクケースブリーザーホースの接続を外し、フューエルブリーザーホースのクランプを外す。エアクリナーケースのボルトを取り外す。



- ・エアクリナーケースの吸気温センサーのカブラの接続を外し、コネクティングチューブクランプから配線を外す(GROMの場合)。コネクティングチューブのバンドのスクリューを緩める。エアクリナーケースのボルトを取り外す。コネクティングチューブをスロットルボディから抜き取り、グロメットからエアクリナーケースのボスを外し、エアクリナーケースを取り外す。



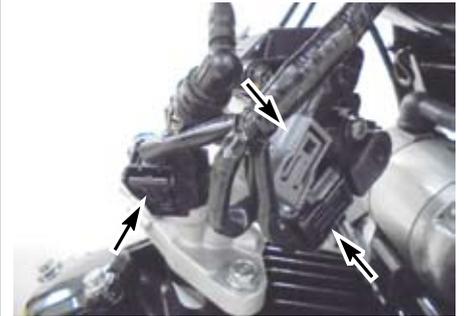
- ・ボルトワッシャを取り外し、スロットルドラムカバーを取り外す。



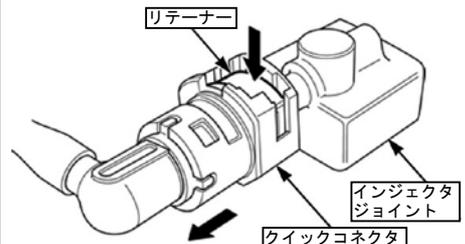
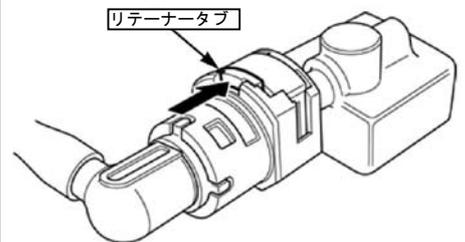
- ・ジョイントホースを取り外す(JC75-1000001 ~ の車両の場合)。



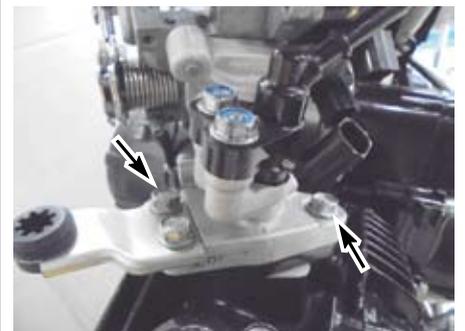
- ・スロットル開度センサー 3P カブラ、インジェクタ 2P カブラ、ソレノイド 2P カブラ (GROM の場合) の接続を外す。



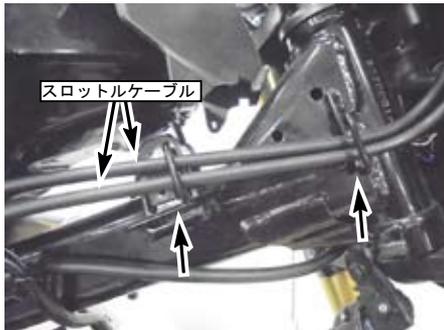
- ・以下に従い、フューエルホースのクイックコネクタの接続をインジェクタジョイントから外す。
- クイックコネクタの周りをウエスなどで覆う。
- リテーナタブをジョイント方向に押しながりリテーナを押し下げ、クイックコネクタをインジェクタジョイントから抜き取る。



- ・インレットパイプのボルト2本を取り外し、インシュレーターを取り出す。インシュレーター両面のOリング2個の紛失に注意する事。



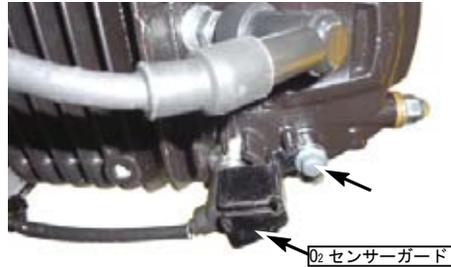
- ・フレームのガイドからスロットルケーブルを外す。インレットパイプ/スロットルボディをスロットルケーブルがつながったまま、スロットルケーブルに負担が掛からないようにフレーム等に置いておく。



- 各センサーの接続を外す  
※ O<sub>2</sub> センサーは衝撃に弱いので取り扱いに注意。衝撃を与えた場合は新品に交換する事。

<GROM: JC61-1000001 ~ 1299999 の車両の場合>

- ・ボルト1本を取り外し、シリンダーヘッドの O<sub>2</sub> センサーガードを取り外す。O<sub>2</sub> センサーキャップを回すのを 1/2 回転以下に抑えながらセンサーから取り外す。

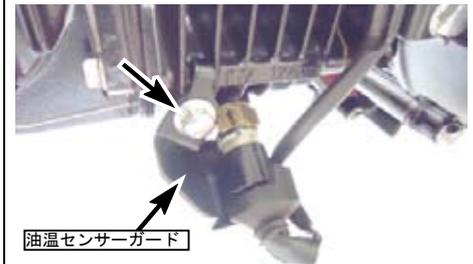


<GROM: JC61-1300001 ~ 1399999 / JC75-1000001 ~ の車両の場合>

- ・ O<sub>2</sub> センサーの配線のカプラーの接続を外し、配線を各クランプから取り外す。



- ・ボルトを取り外し、シリンダーの油温センサーガードを外す。



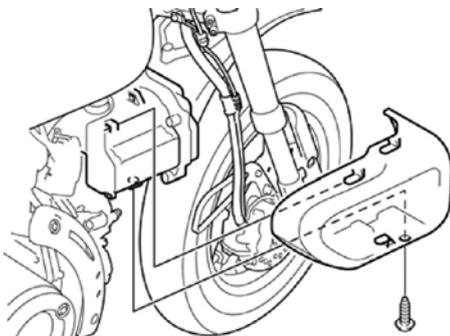
- ・油温センサーのカプラーの接続を外す。



モンキー 125 の場合

●外装部品の取り外し

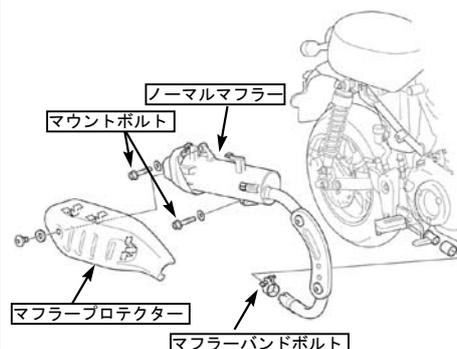
- ・スクリューを取り外し、左右のガーニッシュを取り外す。



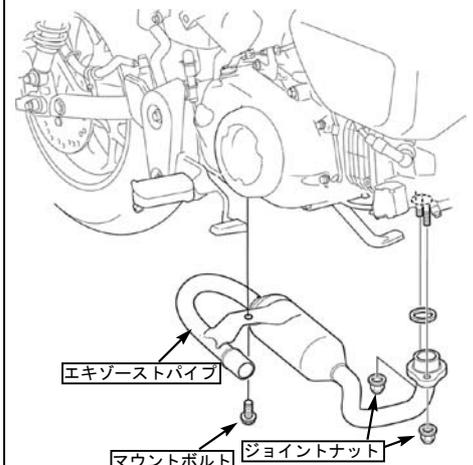
●(ノーマル)エキゾーストマフラーの取り外し

※エキゾーストマフラーが変更されている場合は、そのエキゾーストマフラーの取扱説明書に従う事。

- ・マフラープロテクターを外し、マフラーバンドボルトを緩め、サイレンサー側のマウントボルト2本を取り外してノーマルマフラーを取り外す。



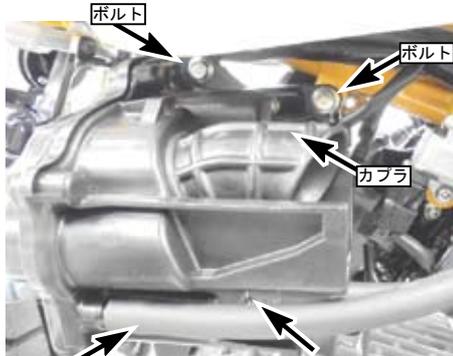
- ・マウントボルトとジョイントナット2個を取り外してエキゾーストパイプを取り外す。



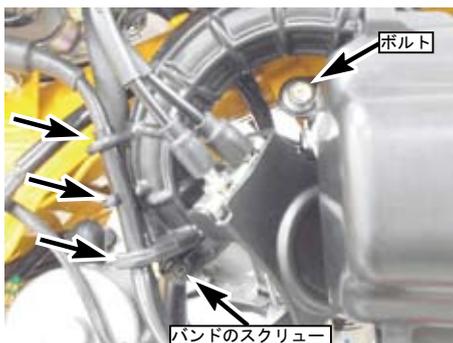
●エアクリーナーケース、インレットパイプ/スロットルボディの取り外し

※弊社ビッグスロットルボディ取り付けの場合は、その取扱説明書に従う事。

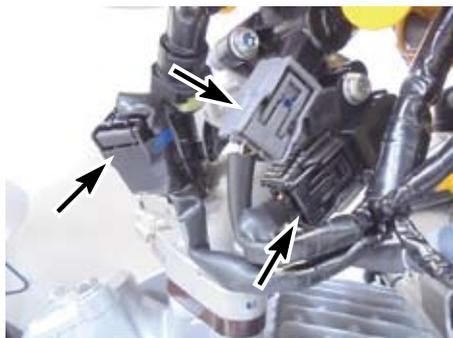
- ・エアクリーナーケースの吸気温度センサーのカプラの接続を外す(タイモデル車両は除く)。エアクリーナーケースからクランクケースフリーザホースとフューエルフリーザホースの接続を外す。ボルト2本を取り外す。



- ・コネクティングチューブからハイテンションコードを外す。コネクティングチューブバンドのスクリューを緩める。ボルトを取り外す。コネクティングチューブをスロットルボディから抜き取り、グロメットからエアクリーナーケースのボスを外し、エアクリーナーケースを取り外す。

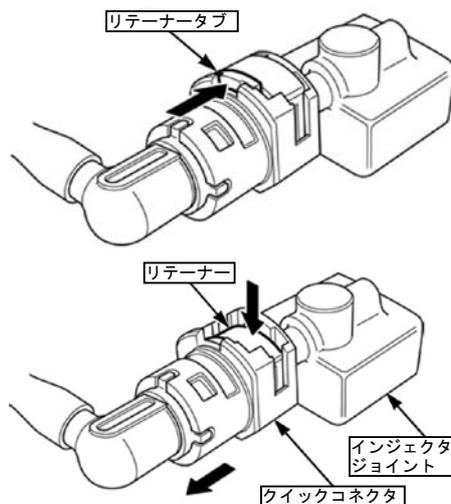


- ・スロットル開度センサー 3P カプラ、インジェクター 2P カプラ、ソレノイド 2P カプラ(タイモデルは除く)の接続を外す。インレットパイプのホースの接続を外す。

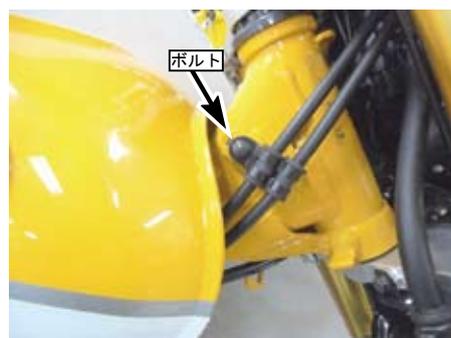


- ・以下に従い、フューエルホースのクイックコネクタの接続をインジェクタジョイントから外す。

- クイックコネクタの周りをウエスなどで覆う。
- リテーナタブをジョイント方向に押しながりテーナを押し下げ、クイックコネクタをインジェクタジョイントから抜き取る。



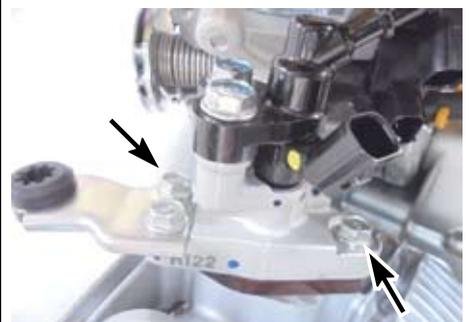
- ・フレームのガイドからスロットルケーブルを外す。スロットルケーブルをフレームに止めているボルトを取り外す。



- ・ボルトワッシャを取り外し、スロットルドラムカバーを取り外す。



- ・インジェクタジョイントのボルト2本を緩める。
- ・インレットパイプのボルト2本を取り外し、インシュレーターを取り出す。インシュレーター両面のOリング2個の紛失に注意する事。



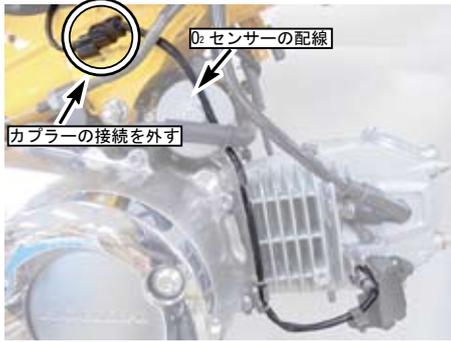
- ・インレットパイプ/スロットルボディをスロットルケーブルがつながったまま、スロットルケーブルに負担が掛からないようにシート等に置いておく。



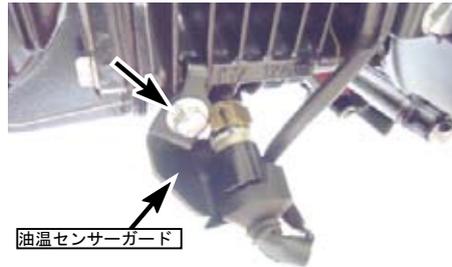
■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

●各センサーの接続を外す

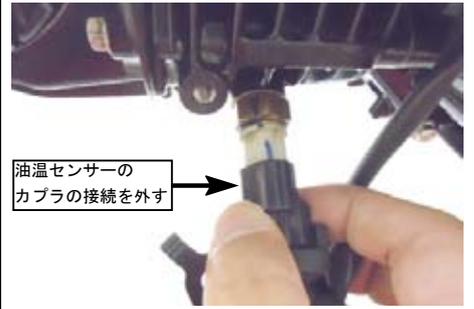
- ※O<sub>2</sub>センサーは衝撃に弱いので取り扱いに注意。衝撃を与えた場合は新品に交換する事。
- ・O<sub>2</sub>センサーの配線のカブラの接続を外し、配線を各クランプから取り外す。



- ・ボルトを取り外し、シリンダーの油温センサーガードを外す。



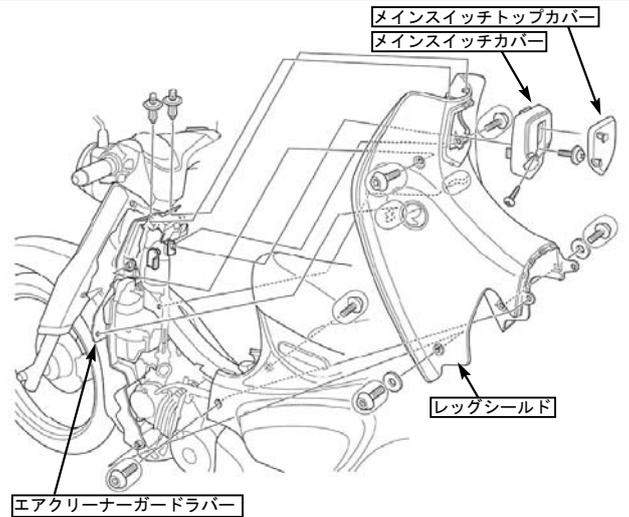
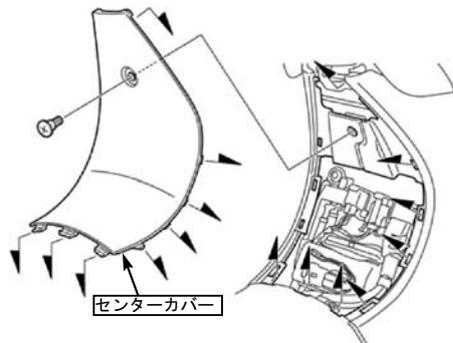
- ・油温センサーのカブラの接続を外す。



スーパーカブ C125 の場合

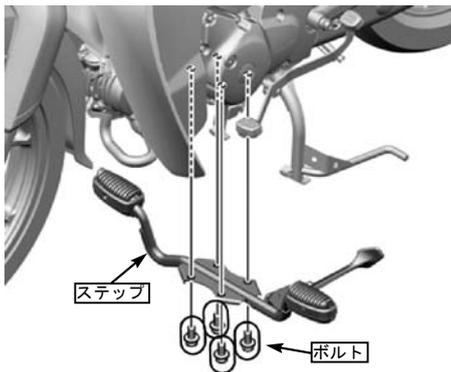
●外装部品の取り外し

- ・純正サービスマニュアルを参照し、センターカバー、レッグシールドを取り外す。レッグシールドはエアクリーナーガードラバーのフック部分、メインスイッチトップカバー、メインスイッチカバーを取り外した後、左右のボディーカバーを破損に注意して広げながら取り外す。

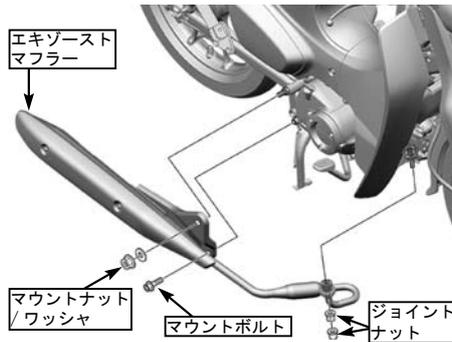


●(ノーマル)エキゾーストマフラーの取り外し

- ※エキゾーストマフラーが変更されている場合は、そのエキゾーストマフラーの取扱説明書に従う事。
- ・ボルトを取り外し、ステップを取り外す。



- ・ジョイントナット、マウントボルト、マウントナット/ワッシャを取り外し、エキゾーストマフラーを取り外す。

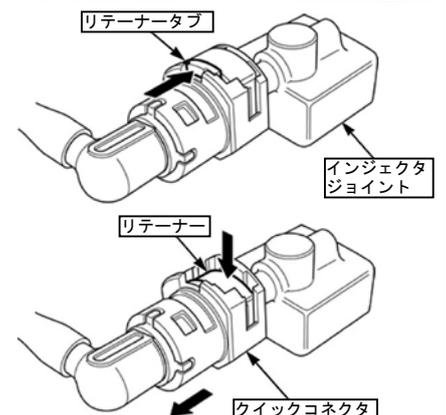


●エアクリーナーケース、インレットパイプ/スロットルボディの取り外し

- ・エアクリーナーケースからブリーザーホースの接続を外す。センサーユニット 5P カブラ、インジェクタ 2P カブラ、IACバルブ 4P カブラの接続を外す。

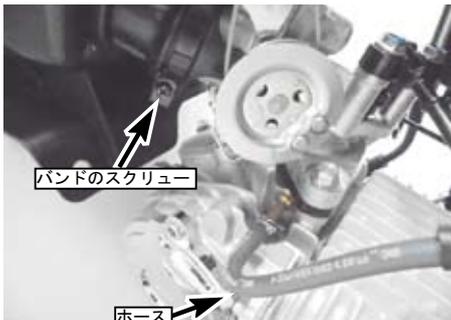


- ・以下に従い、フューエルホースのクイックコネクタの接続をインジェクタジョイントから外す。
- クイックコネクタの周りをウエスなどで覆う。
- リテーナタブをジョイント方向に押しながらリテーナを押し下げ、クイックコネクタをインジェクタジョイントから抜き取る。

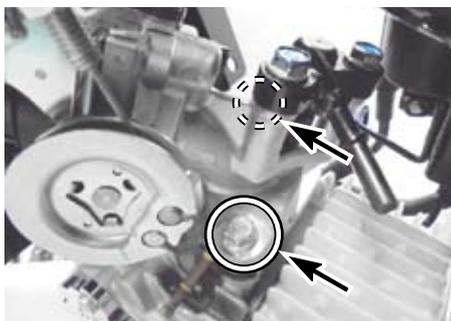


■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

- ・コネクティングチューブバンドのスクリューを緩める。シリンダーヘッドにつながるホースの接続を外す。



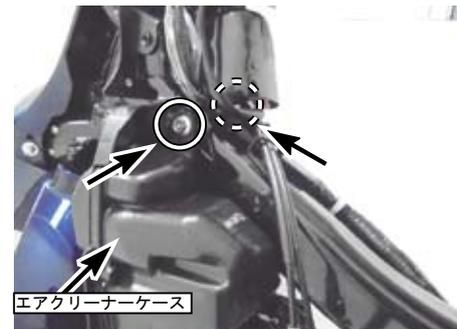
- ・インレットパイプのボルト2本を取り外し、インシュレーターを取り出す。インシュレーター両面のOリング2個の紛失に注意する事。スロットルボディをコネクティングチューブから抜き取る。



- ・トリムクリップ2個を取り外し、インナーレッグシールドを取り外す。



- ・ボルト2本を取り外し、エアクリーナーケースを取り外す。

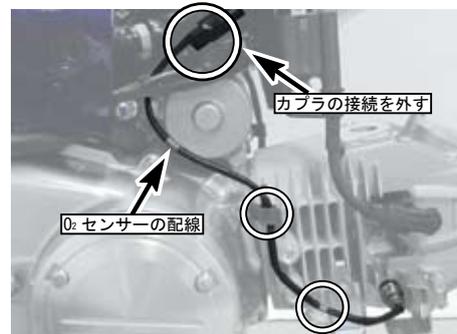


- ・インレットパイプ/スロットルボディをスロットルケーブルがつながったまま、スロットルケーブルに負担が掛からないようにフレームの上等に置いておく。

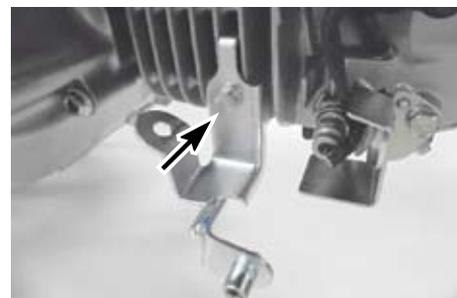


●各センサーの取り外し

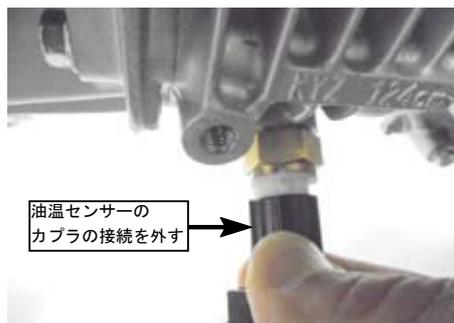
- ・O<sub>2</sub>センサーのカブラの接続を外し、ワイヤクリップをレッグシールドステーから外し、配線をクランプから外す。



- ・ボルト2本を取り外し、シリンダーからレッグシールドステーを取り外す。



- ・油温センサーのカブラの接続を外す。

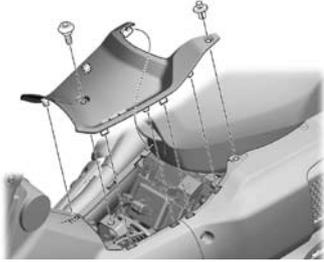


CT125の場合

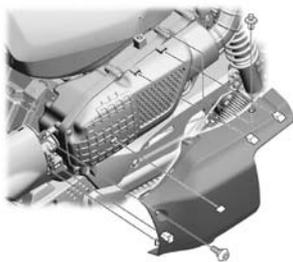
●外装部品の取り外し

・純正サービスマニュアルを参照し、以下を取り外す。

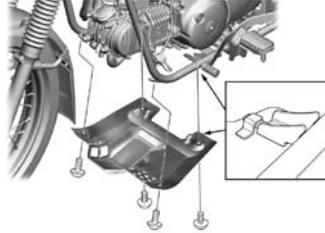
センタカバー



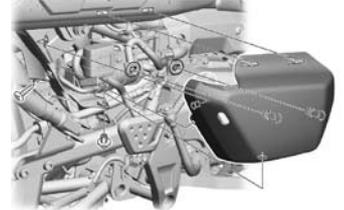
エアクリーナガーニッシュ



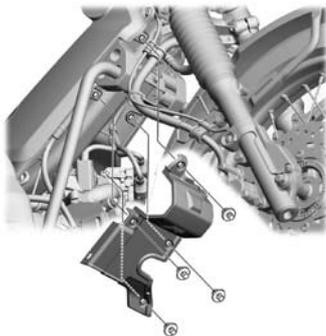
アンダガード



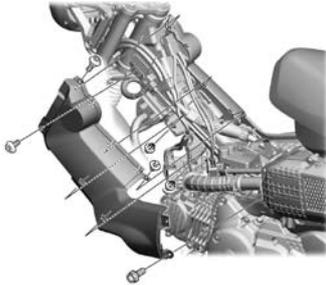
R. ボディカバー



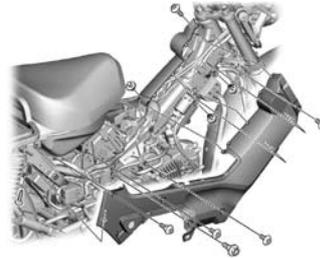
メインパイプロアカバー



L. メインパイプカバー

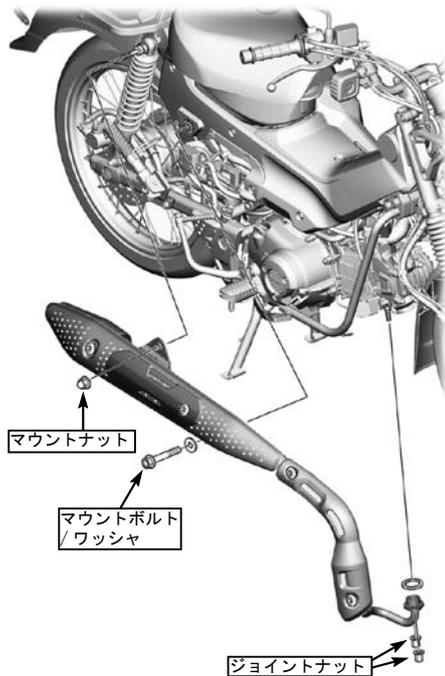


R. メインパイプカバー



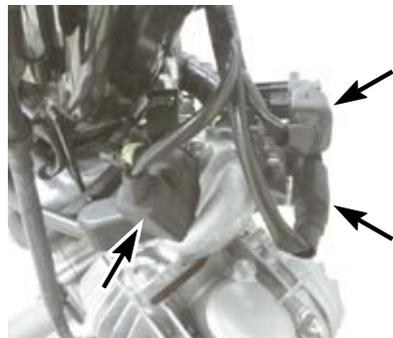
●(ノーマル)エキゾーストマフラーの取り外し

・ジョイントナット、マウントボルト/ワッシャ、マウントナットを取り外し、エキゾーストマフラーを取り外す。

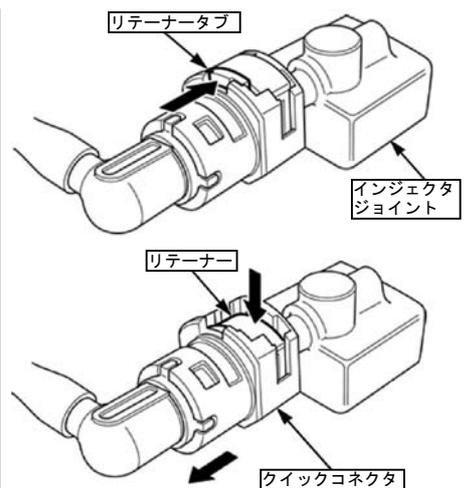


●インレットパイプ/スロットルボディの取り外し

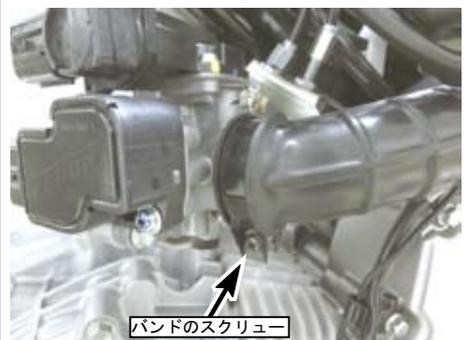
・センサーユニット 5P カプラ、インジェクタ 2P カプラ、IACバルブ 4P カプラの接続を外す。



・以下に従いフューエルホースのクイックコネクタの接続をインジェクタジョイントから外す。  
○クイックコネクタの周りをウエスなどで覆う。  
○リテーナタブをジョイント方向に押しながらリテーナを押し下げ、クイックコネクタをインジェクタジョイントから抜き取る。



・コネクティングチューブバンドのスクリューを緩める。



- ・ボルトを取り外し、スロットルドラムカバーを取り外す。マニホールドにつながるホースの接続を外す。



- ・インレットパイプのボルト2本を取り外し、インシュレーターを取り出す。インシュレーター両面のOリング2個の紛失に注意する事。スロットルボディをコネクティングチューブから抜き取る。

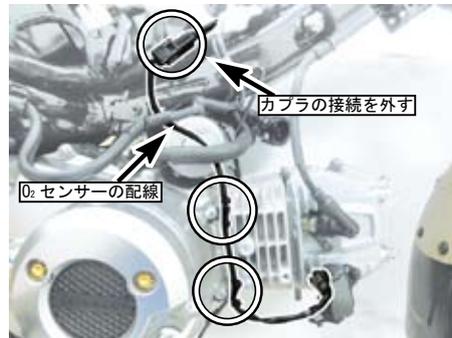


- ・インレットパイプ / スロットルボディをスロットルケーブルがつながったまま、スロットルケーブルに負担が掛からないようにフレームの上等に置いておく。



### ●各センサーの取り外し

- ・O<sub>2</sub>センサーのカブラの接続を外し、配線を各クランプから外す。



- ・ボルトを取り外し、シリンダーの油温センサーガードを外す。



- ・油温センサーのカブラの接続を外す。



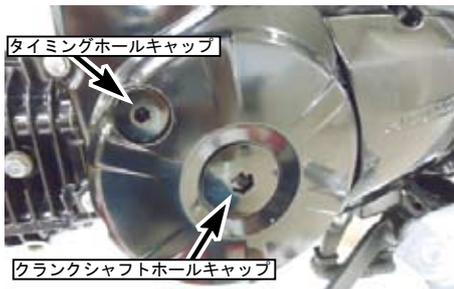
### ハイコンプピストンキットの取り付け

#### ●シリンダーヘッドの取り外し

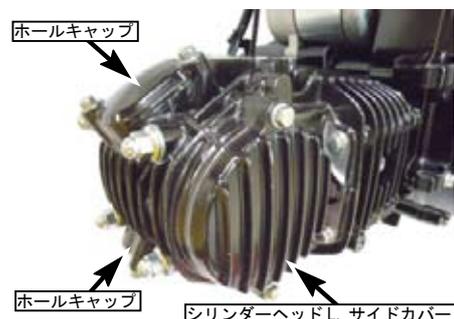
- ・スパークプラグキャップを取り外し、スパークプラグを取り外す。



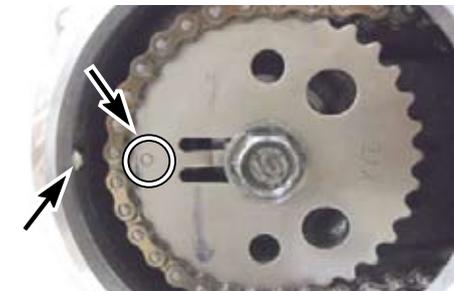
- ・タイミングホールキャップ及びクランクシャフトホールキャップを取り外す。



- ・ボルト2本をそれぞれ取り外しシリンダーヘッドL. サイドカバー /O リング、インテーク側、エキゾースト側のホールキャップ /O リングを取り外す。



- ・クランクシャフトを反時計方向に回し、カムプロケットの“0”マークをシリンダーヘッドの突起に合わせる。



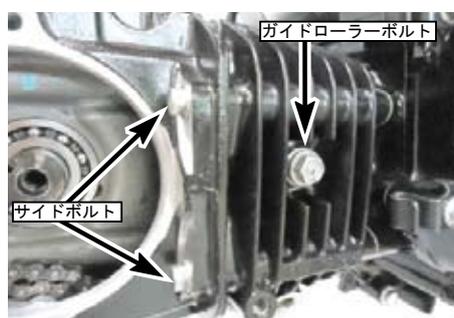
- ・オイルフィルターボルトとシーリングワッシャを取り外す。



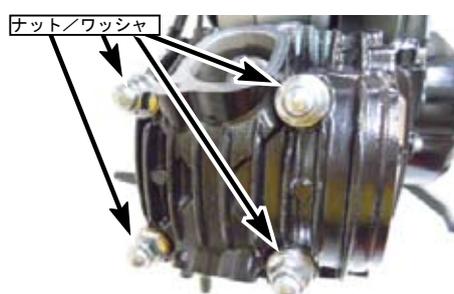
- ・ユニバーサルホルダーにてカムプロケットを固定し、カムプロケットボルトを取り外し、カムプロケットを取り外す。



- ・シリンダーのガイドローラーボルトを緩めておく。シリンダーヘッドのサイドボルト2本を取り外す。



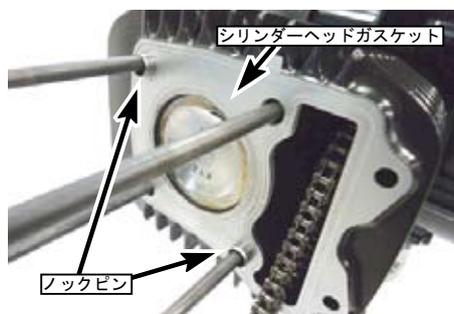
- ・シリンダーヘッドナット4個を対角に数回に分けて緩め、ワッシャ4個と共に取り外す。



- ・シリンダーヘッドを取り外す。

#### ●シリンダー、ピストンの取り外し

- ・シリンダーヘッドガスケットとノックピン2個を取り外す。



- ・シリンダーのガイドローラーボルト / シーリングワッシャを取り外し、ガイドローラーを取り出す。



- ・シリンダーを取り外す。  
※クランクケース内に部品が入り込まないようにクランクケース開口部をウエス等でふさいでおく。
- ・ピストンピンサークリップの片側を外し、ピストンピンを外し、ピストンを取り外す。

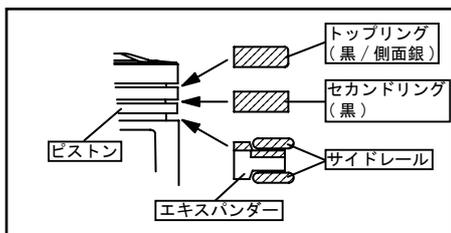
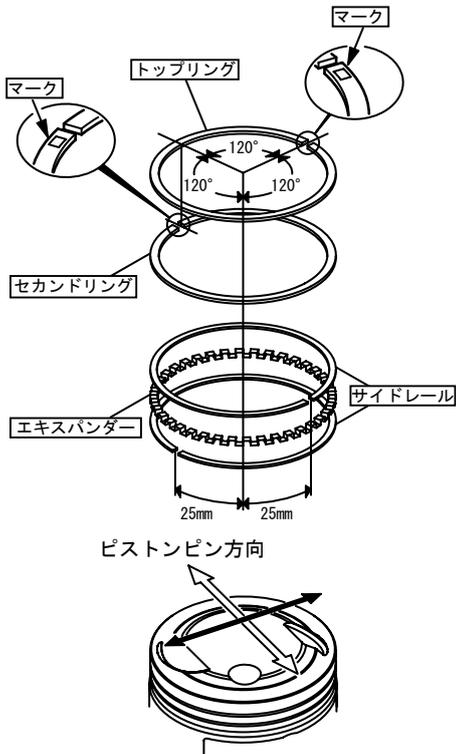


- ・シリンダーガスケットとノックピン2個を取り外す。クランクケースにシリンダーガスケットがこびり付いている場合はスクレイパーにて剥がす。



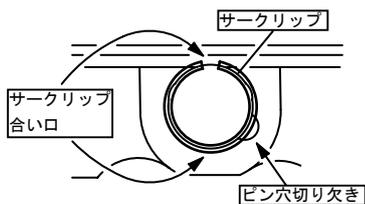
### ●ピストンの取り付け

- ・付属のピストンのピストンリング溝をエアブローし、各ピストンリングを取り付ける。
- ※ TOP リング及び 2ND リングはマークを上にして取り付ける。
- ※ピストン及びピストンリングを傷つけない事、破損させない事。
- ※取り付け後、リングがなめらかに回転する事を確認する事。
- ※リングの合い口は、図のように 120 度間隔で取り付ける事。



断面にも注意

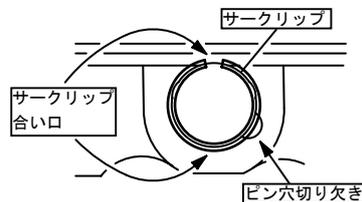
- ・片側のピストンピン穴のサークリップ溝にサークリップを取り付ける。
- ※ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けてピストン上下方向に向けて取り付ける。



- ・コンロッド小端部、ピストンピン穴にエンジンオイルを塗布しピストンピンにモリブデングリスを塗布しピストン頭部にある“IN”マークをインテーク側に向け、ピストンピンを取り付ける。

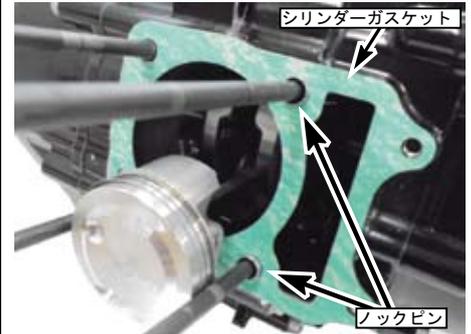


- ・ピストンピンサークリップ溝にピストンピンサークリップを取り付ける。
- ※ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けてピストン上下方向に向けて取り付ける。



### ●シリンダーの取り付け

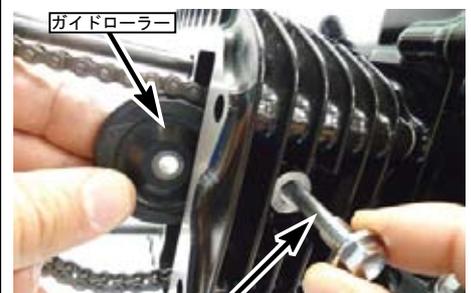
- ・クランクケースのシリンダー取り付け面を清掃し、クランクケース開口部につめていたウエスを取り外しておく。
- ・クランクケースにロックピン2個とキット内の新品のシリンダーガスケットを取り付ける。



- ・ピストンリング部にエンジンオイルを塗布し、なじませる。シリンダー内周部を清掃した後にエンジンオイルを塗布する。カムチェーンをシリンダーに通し、ピストンリングを指で圧縮しながらシリンダーを取り付ける。



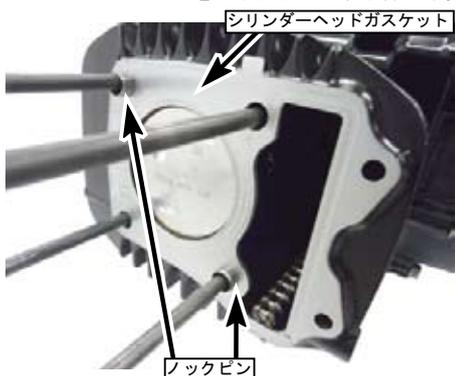
- ・ローラーをシリンダーの取り付け穴に合わせ、ガイドローラーボルト / 新品のシーリングワッシャを仮止めしておく。



ガイドローラーボルト / シーリングワッシャ

### ●シリンダーヘッドの取り付け

- ・シリンダーとシリンダーヘッドの合わせ面を清掃する。ロックピン、キット内のシリンダーヘッドガスケットをシリンダーに取り付ける。



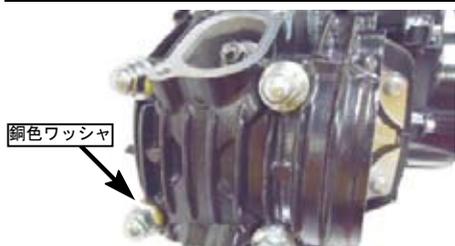
- ・カムチェーンをシリンダーヘッドに通し、シリンダーヘッドを取り付ける。



- ・銅色のワッシャをヘッドに向って左下に、他の銀色のワッシャ3個もセットし、シリンダーヘッドナット4個、シリンダーヘッドのサイドボルト2本を取り付ける。
- ・シリンダーヘッドナット4個を対角に数回に分けて締め付け、規定トルクにて締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。

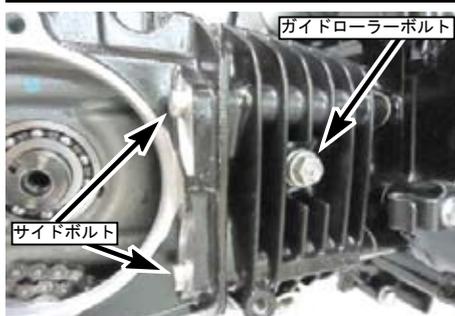
シリンダーヘッドナット  
トルク：24N・m (2.4kgf・m)



- ・シリンダーヘッドのサイドボルト2本を交互に数回に分けて締め付け、規定トルクにて締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。

サイドボルト  
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



- ・仮止めしていたシリンダーのガイドローラーボルトを規定トルクにて締め付ける。

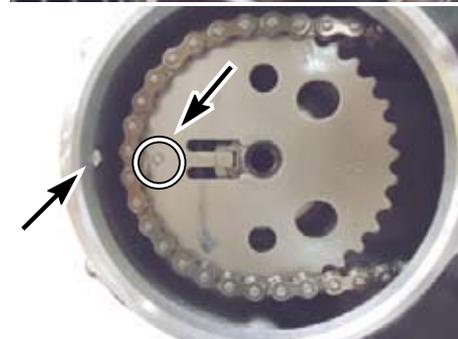
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。

ガイドローラーボルト  
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

### ●カムシャフトの取り付け

- ・弊社製スポーツカムシャフトを、その取扱説明書に従い取り付ける。

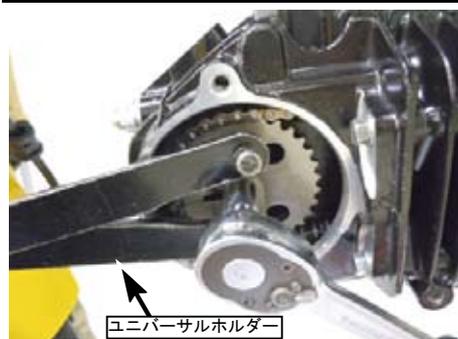
- ・フライホイールの“T”マークがジェネレーターカバーの合わせマークに合っているか確認し、カムスプロケットの“0”マークがシリンダーヘッドの突起と合うようにカムチェーンを付け、カムシャフトの溝にカムスプロケットの突起を合わせて取り付ける。



- ・ユニバーサルホルダーにてカムスプロケットを固定し、カムスプロケットのボルトを規定トルクにて締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。

ボルト  
トルク：27N・m (2.8kgf・m)



- ・クランクシャフトを反時計方向に2回転回し、フライホイールの“T”マークをジェネレーターカバーの合わせマークに合わせ、カムスプロケットのタイミングマークがシリンダーヘッドの合わせマークと合っている事を確認する。
- ・ボルト穴にエンジンオイルを少量注入し、オイルフィルターボルトとシーリングワッシャを取り付け、規定トルクにて締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。

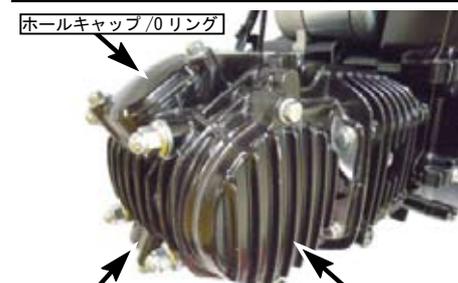
オイルフィルターボルト / シーリングワッシャ  
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



- ・シリンダーヘッドL. サイドカバー / Oリングをシリンダーヘッドに取り付け、ボルト2本を取り付ける。インテーク側、エキゾースト側それぞれのホールキャップ / Oリングをボルト各2本に取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。

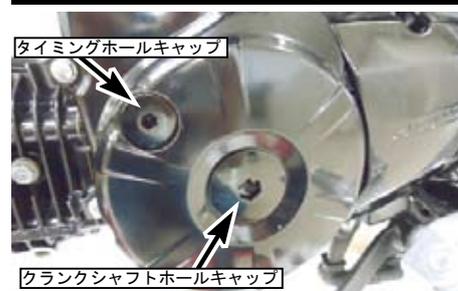
ボルト  
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



- ・タイミングホールキャップ及びクランクシャフトホールキャップにOリングが付いている事を確認して取り付け、規定トルクにて締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。

タイミングホールキャップ  
トルク：6N・m (0.6kgf・m)  
クランクシャフトホールキャップ  
トルク：8N・m (0.8kgf・m)



- ・指定のスパークプラグを取り付け、規定トルクにて締め付ける。スパークプラグキャップを取り付ける。

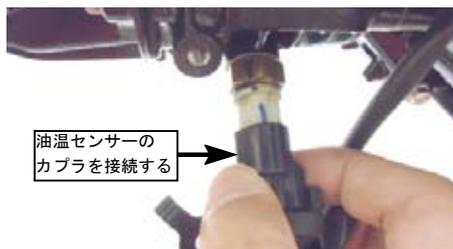
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。

スパークプラグ  
トルク：16N・m (1.6kgf・m)

**GROM, MSX125, MSX125SF の場合**

●各センサーの接続

- ・油温センサーのカブラを接続する。



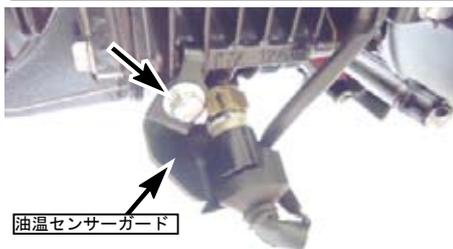
油温センサーのカブラを接続する

- ・油温センサーガードをボルト1本にてシリンダーに取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。

ボルト

トルク：12N・m (1.2kgf・m)



油温センサーガード

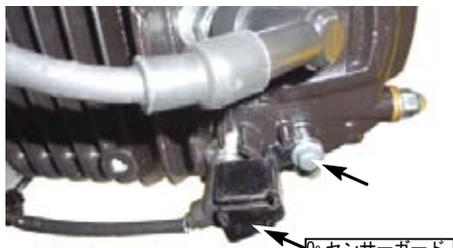
<GROM:JC61-1000001 ~ 1299999 の車両の場合>

- ・O<sub>2</sub>センサーのキャップをまっすぐに接続する。
- ・O<sub>2</sub>センサーガードをボルト1本にてシリンダーヘッドに取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。

ボルト

トルク：12N・m (1.2kgf・m)



O<sub>2</sub>センサーガード

<GROM:JC61-1300001 ~ 1399999/  
JC75-1000001 ~ の車両の場合>

- ・O<sub>2</sub>センサーの配線をワイヤリングし、カブラを接続する。

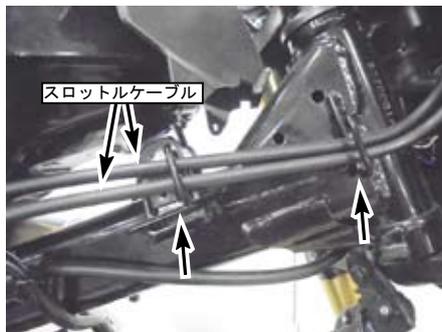


カブラを接続

O<sub>2</sub>センサーの配線

●インレットパイプ / スロットルボディ、エアクリーナーケースの取り付け

- ※弊社製ビッグスロットルボディ取り付けの場合は、その取扱説明書に従い取り付け。
- ・スロットルケーブルをフレームにワイヤリングしながら、インレットパイプ / スロットルボディとインシュレーターをセットする。
- ※この時、インシュレーターの両側にOリングが付いている事を確認する事。
- また、インシュレーターのピンをシリンダーヘッド側に向ける事。



スロットルケーブル

- ・ボルト2本にてインレットパイプをシリンダーヘッドに取り付ける。

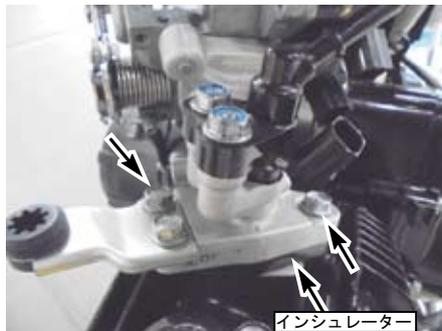
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。

ボルト

トルク：12N・m (1.2kgf・m)



ピン



インシュレーター

- ・スロットルドラムカバーをボルトワッシャにて取り付け。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。

ボルトワッシャ

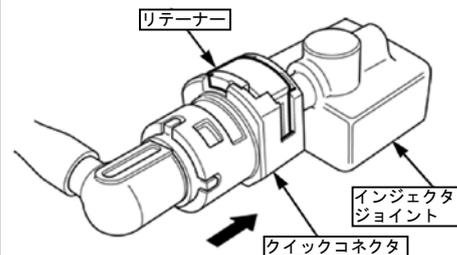
トルク：5.2N・m (0.5kgf・m)



スロットルドラムカバー

ボルトワッシャ

- ・フューエルホースのクイックコネクタをインジェクタジョイントに接続する。
- ※リテナーから“カチッ”と音がし、確実にロックするまで差し込む事。



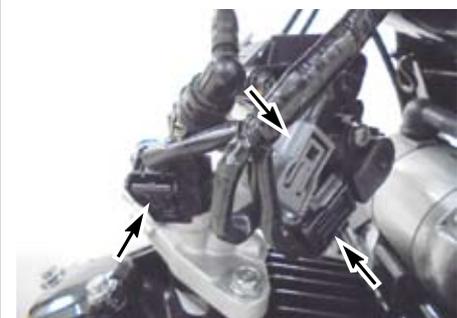
リテナー

インジェクタジョイント

クイックコネクタ

- ・スロットル開度センサー 3P カブラ、インジェクタ 2P カブラ、ソレノイド 2P カブラ (GROM の場合) を接続する。

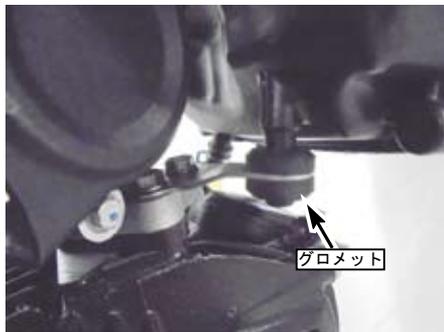
- ※インジェクションコントローラーの取り付けは、その取扱説明書に従い作業を行う事。



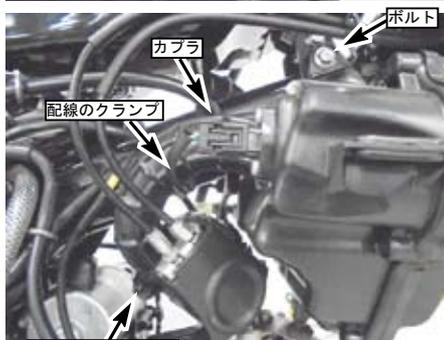
- ・ジョイントホースを接続する (JC75-1000001 ~ の車両の場合)。



・ボスをグロメットに差し込みながらエアクリナーケースをセットする。コネクティングチューブをスロットルボディに確実に差し込み、コネクティングチューブバンドのスクリューを締め付ける。エアクリナーケースをフレームにとめている2本のボルトを仮止めした後、規定トルクにて締め付ける。吸気温度センサーのカブラを接続し、コネクティングチューブに配線をクランプする（GROMの場合）。クランクケースブリーザーホースをエアクリナーケースに接続し、フューエルブリーザーホースをクランプする。



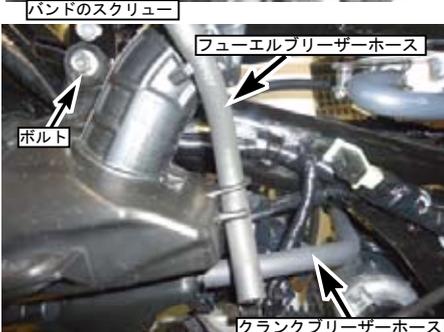
グロメット



ボルト

カブラ

配線のクランプ



フューエルブリーザーホース

ボルト

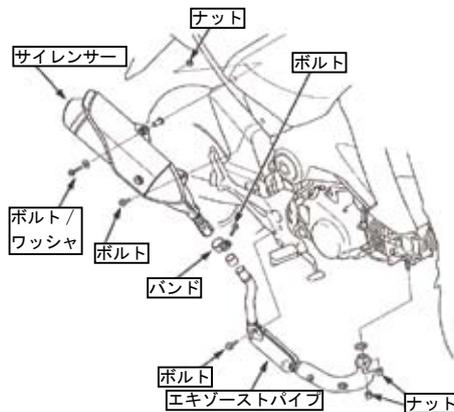
クランクブリーザーホース

●（ノーマル）エキゾーストマフラーの取り付け

※エキゾーストマフラーがノーマル品から変更されている場合は、そのエキゾーストマフラーの取扱説明書に従う事。

＜GROM:JC61-1000001～1299999の車両の場合＞

・ナット2個とボルト1個にてエキゾーストパイプを仮止めする。サイレンサーをエキゾーストパイプに挿し込みサイレンサーのボルト及びボルト/ナットを仮止めする。



ナット

サイレンサー

ボルト

ボルト/ワッシャ

ボルト

バンド

ボルト

エキゾーストパイプ

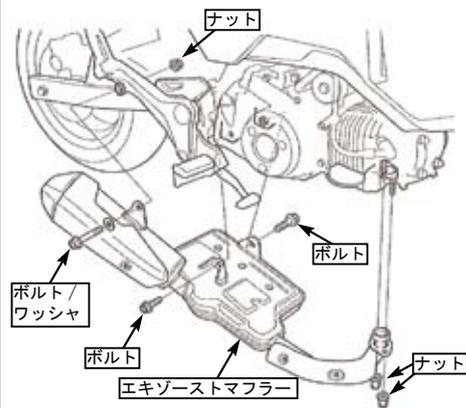
ナット

・各部を規定トルクにて締め付ける。

- ▲注意：必ず規定トルクを守る事。
- エキゾーストパイプ部のナット  
トルク：27N・m (2.8kgf・m)
- エキゾーストパイプ部のボルト  
トルク：27N・m (2.8kgf・m)
- サイレンサーのボルト/ナット  
トルク：27N・m (2.8kgf・m)
- サイレンサーのボルト  
トルク：27N・m (2.8kgf・m)
- バンドのボルト  
トルク：20N・m (2.0kgf・m)

＜GROM:JC61-1300001～1399999/ JC75-1000001～の車両の場合＞

・各ボルト、ワッシャ、ナットを取り付け、エキゾーストマフラーを取り付ける。



ナット

ボルト

ボルト/ワッシャ

ボルト

エキゾーストマフラー

ナット

- ▲注意：必ず規定トルクを守る事。
- シリンダーヘッドエキゾーストスタッド部ナット  
トルク：27N・m (2.8kgf・m)
- エンジン下部のボルト2本  
トルク：27N・m (2.8kgf・m)
- サイレンサー部のボルト/ナット  
トルク：27N・m (2.8kgf・m)

●外装部品の取り付け

・純正サービスマニュアルを参考にして左右のガーニッシュを取り付ける。

モンキー125の場合

●各センサーの接続

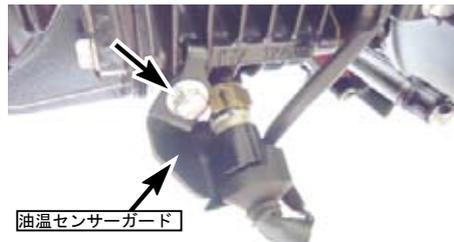
・油温センサーのカブラを接続する。



油温センサーのカブラを接続する

・油温センサーガードをボルト1本にてシリンダーに取り付ける。

- ▲注意：必ず規定トルクを守る事。
- ボルト  
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



油温センサーガード

・指定のスパークプラグを取り付け、規定トルクにて締め付ける。スパークプラグキャップを取り付ける。

- ▲注意：必ず規定トルクを守る事。
- スパークプラグ  
トルク：16N・m (1.6kgf・m)

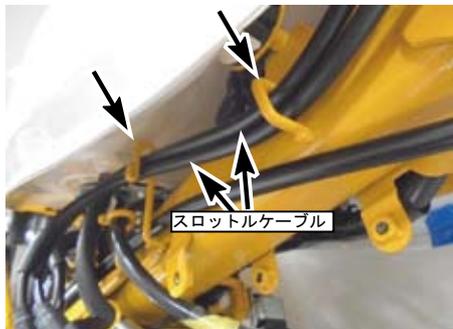
・O<sub>2</sub>センサーの配線をワイヤリングし、カブラを接続する。



O<sub>2</sub>センサーの配線

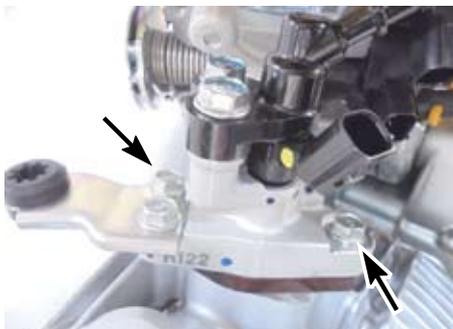
カブラを接続する

●エアクリーナーケース、インレットパイプ / スロットルボディの取り付け  
 ※弊社製ビッグスロットルボディ取り付けの場合は、その取扱説明書に従い取り付け。  
 ・スロットルケーブルをフレームにワイヤリングしながら、インレットパイプ / スロットルボディとインシュレーターをセットする。  
 ※この時、インシュレーターの両側にOリングが付いている事を確認する事。  
 また、インシュレーターのピンをシリンダーヘッド側に向ける事。



・ボルト2本にてインレットパイプをシリンダーヘッドに取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。  
 ボルト  
 トルク：12N・m (1.2kgf・m)



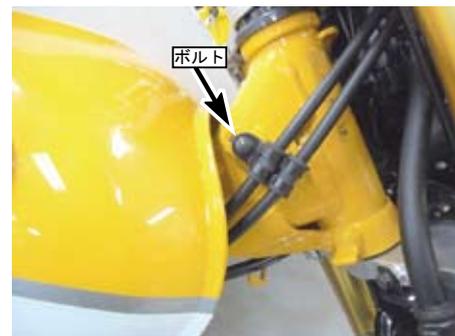
・スロットルドラムカバーをボルトワッシャにて取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。  
 ボルトワッシャ  
 トルク：5.2N・m (0.5kgf・m)

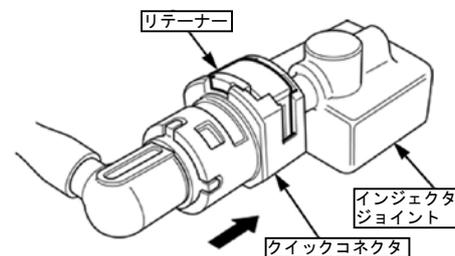


・スロットルケーブルをボルトにてフレームに取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。  
 ボルト  
 トルク：10N・m (1.0kgf・m)



・フューエルホースのクイックコネクタをインジェクタジョイントに接続する。  
 ※リテーナから“カチッ”と音がし、確実にロックするまで差し込む事。

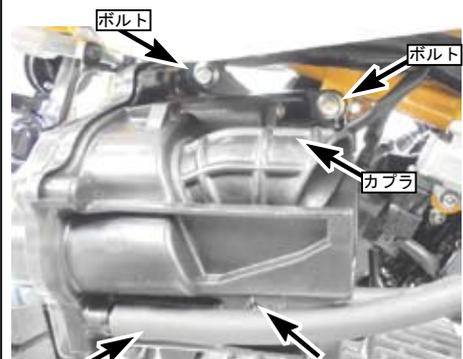
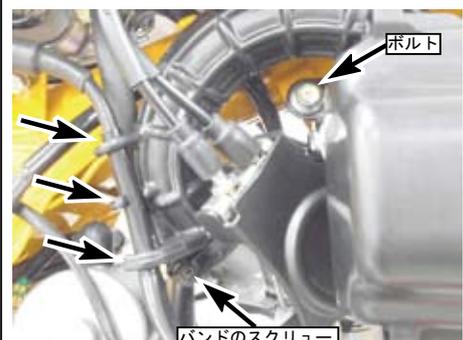


・スロットル開度センサー3Pカプラ、インジェクタ2Pカプラ、ソレノイド2Pカプラ（タイモデルは除く）を接続する。  
 インレットパイプのホースを接続する。



・ボスをグロメットに差し込みながらエアクリーナーケースをセットする。  
 コネクティングチューブをスロットルボディに確実に差し込み、コネクティングチューブバンドのスクリューを締め付ける。  
 エアクリーナーケースをフレームにとめている3本のボルトを仮止めした後、規定トルクにて締め付ける。  
 コネクティングチューブにハイテンションコードをセットする。クランクケースブリーザーホースとフューエルブリーザーホース、吸気温度センサーのカブラを接続する（タイモデルは除く）。

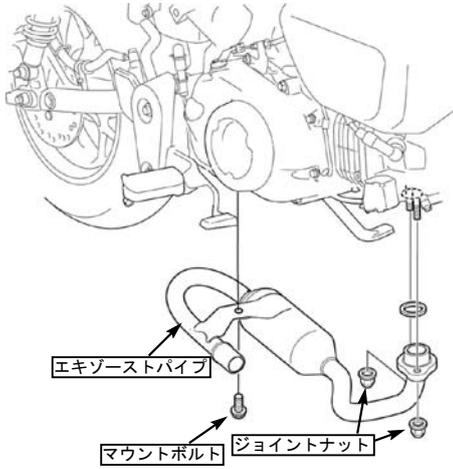
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。  
 コネクティングチューブバンドのスクリュー  
 トルク：1.5N・m (0.15kgf・m)  
 エアクリーナーケースのボルト  
 トルク：12N・m (1.2kgf・m)



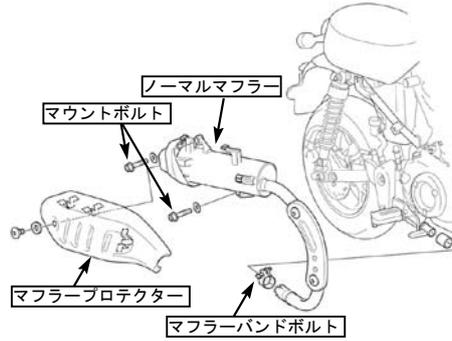
●(ノーマル)エキゾーストマフラーの取り付け

※エキゾーストマフラーが変更されている場合は、そのエキゾーストマフラーの取扱説明書に従う事。

- ・エキゾーストパイプをマウントボルトとジョイントナット2個にて仮止めする。



- ・ノーマルマフラーをエキゾーストパイプに差し込み、マウントボルト2本にて仮止めする。



- ・各部を規定トルクにて締め付ける。マフラープロテクターをボルトにて取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。

ジョイントナット

トルク：27N・m (2.8kgf・m)

エキゾーストパイプのマウントボルト

トルク：27N・m (2.8kgf・m)

ノーマルマフラーのマウントボルト

トルク：27N・m (2.8kgf・m)

マフラーバンドボルト

トルク：20N・m (2.0kgf・m)

マフラープロテクターのボルト

トルク：10N・m (1.0kgf・m)

●外装部品の取り付け

- ・純正サービスマニュアルを参考にして左右のガーニッシュを取り付ける。

スーパーカブ C125 の場合

●各センサーの取り付け

- ・油温センサーのカブラを接続する。

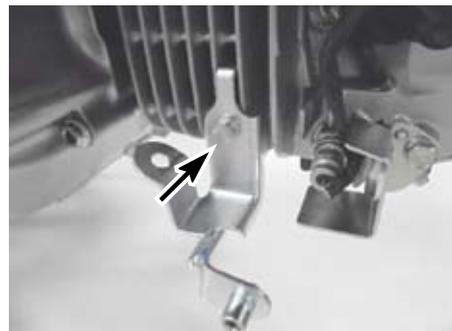


- ・シリンダーにボルト2本にてレッグシールドステーを取り付ける。

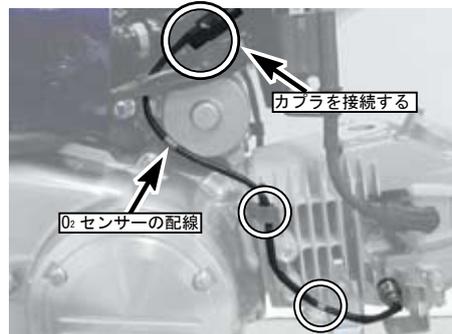
▲注意：必ず規定トルクを守る事。

ボルト

トルク：10N・m (1.0kgf・m)



- ・O<sub>2</sub>センサーの配線をワイヤリングし、カブラを接続する。レッグシールドステーの穴にワイヤクリップをはめ、配線をクランプする。



●エアクリーナーケース、スロットルボディー / インレットパイプの取り付け

※弊社製ビッグスロットルボディー取り付けの場合は、その取扱説明書に従い取り付け。

- ・エアクリーナーケースとスロットルボディー / インレットパイプをフレーム・エンジン間にセットし、エアクリーナーケースをボルト2本にてフレームに仮止めする。コネクティングチューブをスロットルボディーにしっかりとめ込む。



- ・トリムクリップ2個にて、インナーレッグシールドをエアクリーナーケースに取り付ける。



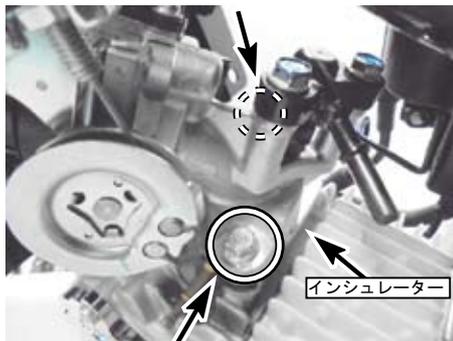
■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

- ・インレットパイプとシリンダーヘッドの間にインシュレーターをセットし、ボルト2本にてシリンダーヘッドに取り付ける。
- ※この時、インシュレーターの両側にOリングが付いている事を確認する事。
- また、インシュレーターのピンをシリンダーヘッド側に向ける事。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。

ボルト

トルク：12N・m (1.2kgf・m)



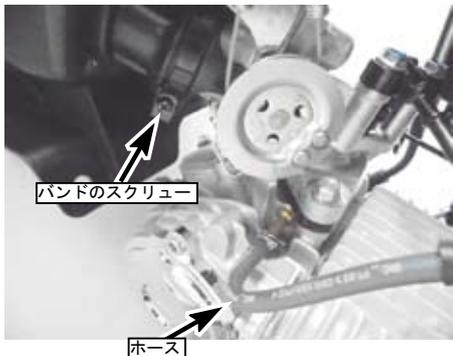
- ・エアクリーナーケースのボルト2本を規定トルクにて締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。

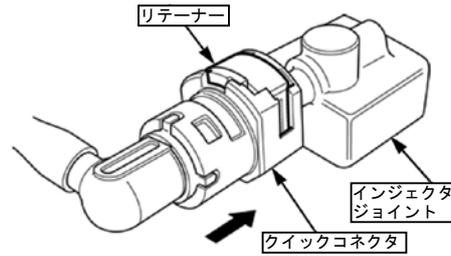
エアクリーナーケースのボルト

トルク：12N・m (1.2kgf・m)

- ・コネクティングチューブバンドのスクリューを締め付け、シリンダーヘッドにホースを接続する。



- ・フューエルホースのクイックコネクタをインジェクタジョイントに接続する。
- ※リテーナから“カチッ”と音がし、確実にロックするまで差し込む事。



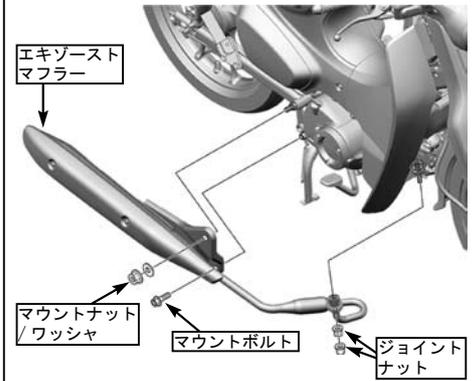
- ・センサーユニット5Pカプラ、インジェクタ2Pカプラ、IACバルブ4Pカプラを接続する。
- エアクリーナーケースにブリーザーホースを接続する。



●(ノーマル)エキゾーストマフラーの取り付け

- ※エキゾーストマフラーが変更されている場合は、そのエキゾーストマフラーの取扱説明書に従う事。

- ・エキゾーストマフラーをジョイントナット、マウントボルト、マウントナット/ワッシャにて仮止める。



- ・各部を規定トルクにて締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。

ジョイントナット

トルク：27N・m (2.8kgf・m)

マウントボルト

トルク：27N・m (2.8kgf・m)

マウントナット

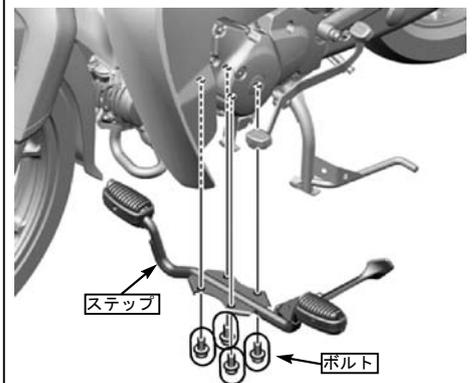
トルク：54N・m (5.5kgf・m)

- ・4本のボルトにてステップを取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。

ボルト

トルク：27N・m (2.8kgf・m)



●外装部品の取り付け

- ・純正サービスマニュアルを参考にして各カバーを取り付ける。

CT125の場合

●各センサーの取り付け

- ・油温センサーのカプラを接続する。

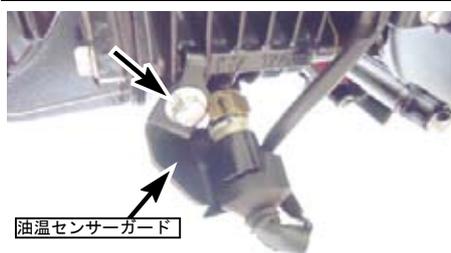


- ・油温センサーガードをボルト1本にてシリンダーに取り付ける。

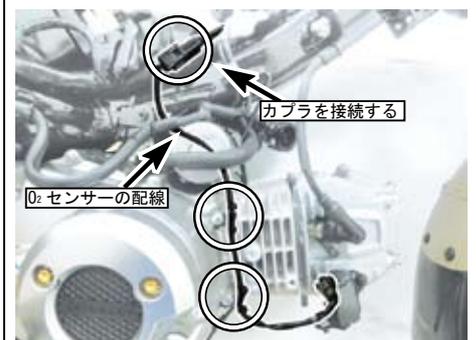
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。

ボルト

トルク：12N・m (1.2kgf・m)



- ・O<sub>2</sub>センサーの配線をワイヤリングし、カプラを接続する。配線をクランプする。



●スロットルボディ / インレットパイプの取り付け

※弊社製ビッグスロットルボディ取り付けの場合は、その取扱説明書に従い取り付け。

- ・スロットルボディ / インレットパイプをコネクティングチューブにしっかりとめ込み、フレーム・エンジン間にセットする。



- ・インレットパイプとシリンダーヘッドの間にインシュレーターをセットし、ボルト2本にてシリンダーヘッドに取り付ける。
- ※この時、インシュレーターの両側にOリングが付いている事を確認する事。  
また、インシュレーターのピンをシリンダーヘッド側に向ける事。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。  
ボルト  
トルク：12N・m (1.2kgf・m)

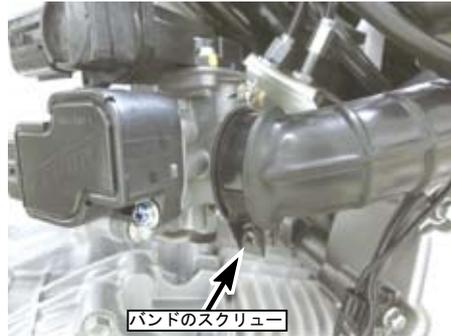


- ・スロットルドラムカバーをボルトワッシャにて取り付け。マニホールドにホースを接続する。

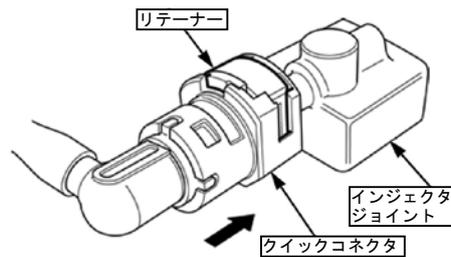
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。  
ボルトワッシャ  
トルク：5.2N・m (0.5kgf・m)



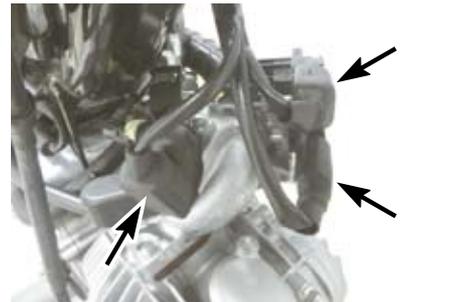
- ・コネクティングチューブバンドのスクリューを締め付ける。



- ・フューエルホースのクイックコネクタをインジェクタジョイントに接続する。
- ※リテナーから“カチッ”と音がし、確実にロックするまで差し込む事。



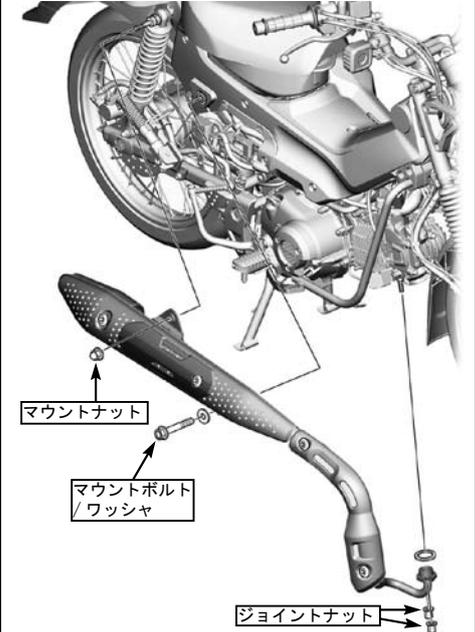
- ・センサーユニット5Pカブラ、インジェクタ2Pカブラ、IACバルブ4Pカブラを接続する。



●(ノーマル)エキゾーストマフラーの取り付け

※エキゾーストマフラーが変更されている場合は、そのエキゾーストマフラーの取扱説明書に従う事。

- ・エキゾーストマフラーをジョイントナット、マウントボルト / ワッシャ、マウントナットにて仮止めする。



- ・各部を規定トルクにて締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。  
ジョイントナット  
トルク：27N・m (2.8kgf・m)  
マウントボルト  
トルク：27N・m (2.8kgf・m)  
マウントナット  
トルク：27N・m (2.8kgf・m)

●外装部品の取り付け

- ・純正サービスマニュアルを参考にして各カバーを取り付ける。

## ハイコンピストンキットのご使用にあたり

### ●インジェクションコントローラーについて

◇車種やスロットルボディーに合った弊社製 FI コントローラー “FI コン2” または “FI コン TYPE-e” を必ず同時装着して下さい。

◇ “FI コン2” をご使用の場合、設定を取扱説明書に従い行って下さい。なお、初期設定の MAP 選択の際は、ロータリースイッチを下表内の SW 番号に合わせ、設定して下さい。

※ MAP 選択の際に下表内以外の SW 番号にロータリースイッチを合わせないで下さい。

### ○ノーマルスロットルボディーをご使用の場合

SW 番号	GROM (JC61-1000001 ~ 1299999) 用 FI コン2 品番 : 05-04-0016	MSX125 (タイ仕様) 用 FI コン2 品番 : 05-04-0020	GROM (JC61-1300001 ~ · JC75-1000001 ~) · MSX125SF 用 FI コン2 品番 : 05-04-0034
1	ノーマルマフラー	ノーマルマフラー	トラックーマフラー
2	スリップオンサイレンサー	スリップオンサイレンサー	G スタイルマフラー
3	フルエキゾーストマフラー	フルエキゾーストマフラー	ボンパーマフラー

### ○ビッグスロットルボディーをご使用の場合

SW 番号	GROM (JC61-1000001 ~ 1299999) 用 FI コン2 品番 : 05-04-0025	MSX125 (タイ仕様) 用 FI コン2 品番 : 05-04-0026	GROM (JC61-1300001 ~ · JC75-1000001 ~) · MSX125SF 用 FI コン2 品番 : 05-04-0035
1	スリップオンタイプマフラー	スリップオンタイプマフラー	トラックーマフラー
2	フルエキゾーストタイプマフラー	フルエキゾーストタイプマフラー	G スタイルマフラー
3	ボンパーマフラー	ボンパーマフラー	ボンパーマフラー

※弊社製スポーツカムシャフトが取り付けられ、CPR7EA-9 (NGK) 相当以上の冷え型のスパークプラグが取り付けられ、且つエキゾーストマフラーはノーマルまたは弊社製品である事が前提となります。

◇ “FI コン TYPE-e” または “FI コン TYPE-X” をご使用の場合、設定を取扱説明書に従い行って下さい。

なお、FI コン TYPE-e または、FI コン TYPE-X と共にビッグスロットルボディーキットを併用される場合は、弊社製フューエルインジェクタ : 00-00-0487 を同時装着して下さい。

※スーパーカブ C125 と CT125 は除きます。

### ●走行前の注意

- ・燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替える。
- ・各部を点検し、ネジやナット等の緩みが無いか確認する。
- ・エンジンオイルが規定量入っているか確認する。
- ・風通しが良く、安全な場所で十分注意してエンジンを始動し暖気運転させる。

**⚠ 警告 : エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。  
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)**

- ・エンジンからの異音や、各ガスケット部からのオイルもれが無いか点検する。
- ・エンジンを切り、充分冷えた後で各部を点検し、ネジやナット等の緩みが無いか再度点検する。

### ●慣らし運転について

◇急激なアクセルワークをさけ、エンジン回転を落とした状態で 100km 程度の慣らし運転を必ず行って下さい。

**部品の点検について**

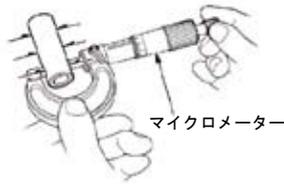
**ピストンの点検**

- ・ピストン外周部、ピストンリング溝、ピストンピン穴の磨耗や損傷を確認する。
- ・カーボンやオイル分を取り除き、各部を測定する。ピストン外径はピストンピンとは直角方向のスカート下端から4mmの位置にて測定する。ピストンピン穴内径はピストン水平方向と垂直方向を測定し、最大値にて評価する。



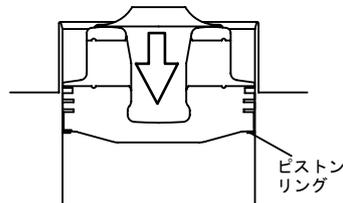
**ピストンピンの点検**

- ・ピストンピン外周部の磨耗や損傷、曲がり、焼き付き等を確認する。
- ・ピストンピン外周部の摺動部を測定する。

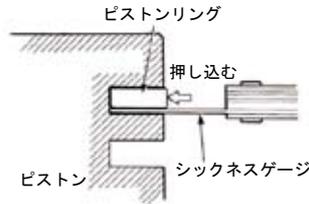


**ピストンリングの点検**

- ・ピストンリングの磨耗や損傷を確認する。
- ・ピストンリングをシリンダー下部に入れ、ピストンを使ってリングを押し込み、水平にした後に合い口隙間を測定する。

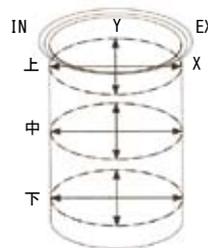


- ・ピストンにピストンリングを取り付け、シクネスゲージを使用してトップリングとピストンのリング溝のクリアランスを測定する。



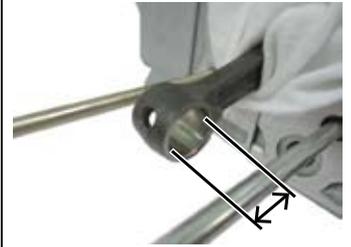
**シリンダーの点検**

- ・シリンダー内面の磨耗や損傷を確認する。
- ・シリンダー内径をピストンピン方向とその直角方向に、上・中・下段で6箇所測定し、最大値にて評価する。



**コンロッド小端部の点検**

- ・コンロッド小端部内面の磨耗や損傷を確認する。
- ・コンロッド小端部内径を測定する。



項目		標準値	使用限度値
ピストン	外径(スカート下端から4mm位置)	_____	52.30mm
	ピストンピン穴内径	_____	13.08mm
ピストンピン	外径	_____	12.96mm
ピストンとピストンピンのクリアランス		_____	0.03mm
ピストンリング	トップリング合い口隙間	0.15 ~ 0.38mm	0.50mm
	セカンドリング合い口隙間	0.15 ~ 0.38mm	0.50mm
	サイドレール合い口隙間	0.2 ~ 0.7mm	1.0mm
トップリングとピストンのリング溝のクリアランス		_____	0.09mm
セカンドリングとピストンのリング溝のクリアランス		_____	0.09mm
シリンダー	内径	52.405 ~ 52.415mm	52.445mm
	内径の真円度	0.01mm以下	0.05mm
	内径の円筒度	0.01mm以下	0.05mm
シリンダーとピストンのクリアランス		0.025 ~ 0.055mm	0.10mm
コンロッド小端	内径	13.010 ~ 13.028mm	13.05mm
コンロッドとピストンピンのクリアランス		_____	0.05mm

上記は主に弊社製品及びそれに関わる箇所の点検を記しています。各クリアランスが上記の範囲から外れた場合は修正または部品を交換し、再度点検・クリアランスを確認して下さい。その他は車両専用の純正サービスマニュアルに従い点検を行って下さい。